

平成28年度 学校自己評価

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

①教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は明確化されているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

[課題]

- ・人型ロボット、ウェアラブル等の実物を積極的に導入
- ・学科、コースにより多少明確さや周知度に差があり
- ・インターンシップ（就業体験実習）を多く取り入れることとし活動を行ったが、協力企業とのマッチングに難があった

[今後の改善方法]

- ・社会状況の変化に意欲的に対応する
- ・企業ニーズをつかみ育成人物像や将来構想を見直す
- ・学科毎に企業選定を行い、業界体験を目的としたインターンシップを行うこととし、一人一人にテーマを持たせ参加させる

[特記事項]

- ・C O O P等の考え方の導入に取り組んでいる
- ・社会の変化に素早く対応する必要あり

②学校運営

・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

[課題]

- ・ボトムアップによる意識改革が必要
- ・他の大学や短大と比較して、情報公開やシステム化は遅れている
- ・将来に向けた人材の確保が課題

[今後の改善方法]

- ・情報発信の多様化の推進（SNS等）
- ・情報公開に関しては、計画的な取り組みを行う
- ・教務部、広報部、総務部共に次世代を担う人材の採用を積極的に行う

[特記事項]

- ・システム化には、予算的な問題がある

③教育活動

・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等がおこなわれているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3

・教員の能力開発のための研修等が行われているか	3
-------------------------	---

[課題]

- ・先端・教員のスキルアップ
- ・協力企業の分野拡大
- ・シラバスの評価、研究授業、成績評価の定期見直し必要
- ・外部関係者からの評価取入れが課題
- ・校外研修等の参加が消極的

[今後の改善方法]

- ・幅広い分野の企業との連携強化
- ・評価体制（相互評価等）の見直し
- ・来期より教員に対し、研修の積極参加を推進

[特記事項]

- ・インターンシップ受け入れ企業の開拓を始めた

④学修成果

・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

[課題]

- ・職業、職場へのミスマッチ防止
- ・卒業後の追跡調査、情報が不足
- ・卒業後の対応が不十分である

[今後の改善方法]

- ・積極的インターンシップ導入、情報収集力の向上
- ・追跡調査と情報収集、そしてフィードバックが必要
- ・卒業生の就職先に訪問し状況の確認を行う

[特記事項]

- ・人間力向上に対する取り組み、評価は良い
- ・OB、OG訪問が以前より増え、フィードバックも増えてきた

⑤学生支援

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

[課題]

- ・職業理解の為のインターンシップ協力企業の増加

[今後の改善方法]

- ・一層の教育カウンセラー活用
- ・職種の不マッチを無くすため、積極的にインターンシップを行う

[特記事項]

- ・職場訪問を実施し、フォローを行っている
- ・学院通信の発行を行った
- ・体験入学時の本人、保護者への入学等に関する説明が増している
- ・社会人の受け入れはしていない

⑥教育環境

・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	4

[課題]

- ・建物の老朽化、実習設備の更新
- ・校舎外壁残り2面、屋上防水工事、学生ホール防水工事、トイレの洋式化等が改善対象である

[今後の改善方法]

- ・更新すべき設備の把握と対応
- ・改修工事については、優先順位を決め順次行う

[特記事項]

- ・防火避難訓練を実施し、意識向上を図っている
- ・内定後の企業研修は、実践教育として効果が上がっている
- ・来期、学生ホール防水塗装工事着手予定

⑦学生の受入れ募集

・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

[特記事項]

- ・情報マルチメディア学科導入により、専攻コース選択変更可能となる

⑧財務

・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	3

[課題]

- ・学生数の安定的確保による財務の安定
- ・安定した入学生数の確保が課題

[特記事項]

- ・3年制学科導入は、今後効果をあげると考える

⑨法令等の遵守

・法令、専修学校設備基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

[今後の改善方法]

- ・個人情報管理責任者より、教職員向け研修を行い、管理の徹底を一層周知させる

⑩社会貢献・地域貢献

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

[課題]

- ・ごみゼロ運動は、人間教育の上でも良かったと思うが無くなった

[今後の改善方法]

- ・ボランティア情報の周知
- ・ごみゼロ運動を再開できないか検討

[特記事項]

- ・公開講座は、小中学生対象講座を行っている
- ・ボランティア活動は、別大マラソン大会に例年50名程度参加している

以上が平成28年度の学校評価の結果集計です。様々な課題と改善策について意見をいただき感謝申し上げます。